

# **身体拘束・行動制限の廃止及び 行動障害のある利用者への支援**

# 講義のねらい

「虐待防止の両輪」研修として「障害者虐待防止・権利擁護研修」と共に各都道府県で開催されている「強度行動障害支援者養成研修」より、「障害特性の理解」と「特性に沿った支援」の必要性を学びます。また、コミュニケーション（意思疎通）が困難な人の意思を汲み取る為に支援者主観ではなく、PDCAサイクルに基づいたエビデンス（根拠）のある支援の取り組み方を学びます

## 【ポイント】

- ①話し言葉や目に見えない「概念」に対して理解のしにくさがある、重度知的＋自閉症の人に必要な支援について理解する。
- ②合理的配慮：「冰山モデル」の考え方
- ③アセスメントシートを活用した実際の支援の組み立て方
- ④虐待防止・権利擁護研修と強度行動障害研修の事業所内での連携のあり方

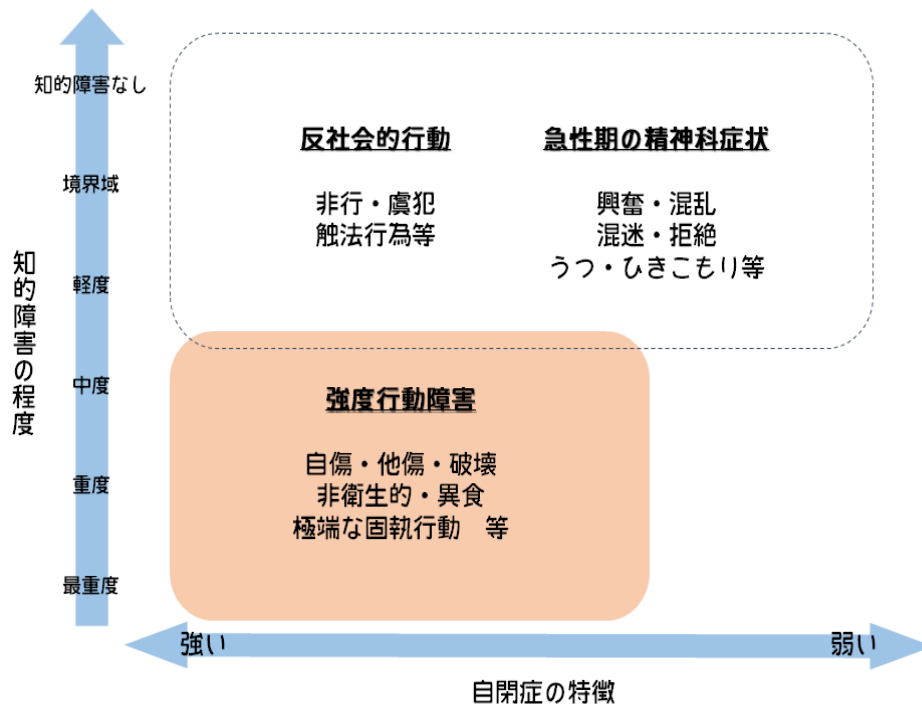
# 強度行動障害の定義

(強度行動障害支援者養成基礎研修テキスト)

**\* 直接的他傷** (噛み付き、頭突き等)

**\* 間接的他傷** (睡眠の乱れ、こだわり、行動停止等)

**\* 自傷行為** 以上が高頻度と形式で出現、家庭でかなりの養育努力をしても著しい対応困難が持続。医学的診断とは異なり行動的に定義。



○主な支援事業：  
施設入所支援，生活介護  
就労継続B型（一部）  
行動援護，共同生活援助(一部)

○強度行動障害の  
8割以上が  
重度・最重度知的障害を伴う  
自閉スペクトラム症  
(ASD) といわれている

# 行動障害の種類（行動障害研究会 1989）

- \* 食事行為の障害・・・拒食/異食/偏食
- \* 物壊し・・・器物破損/服破り
- \* 他傷・・・噛付き/叩き/蹴り/つねり/殴り/頭突き/粗暴/目突き
- \* 自傷・・・頭突き/顔叩き/傷いじり/爪はぎ/髪抜き/腕噛み
- \* 異常な動き・・・徘徊/飛び出し/多動
- \* こだわり・・・場所, 物, 人, 予定に対するこだわり
- \* 睡眠障害・・・不眠/起き出し/昼夜逆転/浅眠/寝つきの悪さ
- \* 騒がしさ・・・奇声/うなり/大声
- \* 排泄行為の障害・・・便の壁塗り/食便/弄便/飲尿/生理の扱い

# 強度行動障害の人の概数

稀に行動障害を見せる  
(自傷・攻撃・破壊・非衛生的・異食・極端な固執行動等)

強度行動障害  
(全国で7,000~8,000人)

日常的な行動障害のある人  
(全国で20,000人程度)

国立のぞみ園（H25）  
「強度行動障害支援者  
養成研修テキスト」  
⇒約2万人

厚生労働省資料 H30.12月（国民健康保険団体連合会データ）

加算内容	事業内容	人数
重度障害者支援加算（Ⅱ）	施設入所支援	19,098
重度障害者支援加算	短期入所	4,850
	共同生活援助	2,869
	生活介護	4,829
—	行動援護	11,036
—	重度訪問介護	809
強度行動障害児特別支援加算	福祉型障害児入所施設	13
強度行動障害児支援加算	放課後等デイサービス	1,289
	児童発達支援	82
計		44,875

厚生労働省資料  
国民健康保険団体連合会  
データ  
(H30.12)  
⇒44,875人

# 強度行動障害支援のノウハウを蓄積するには

## タイプ1 ≡ 2.5万人

- 人口5万人の都市（圏域）では、強度行動障害は10人
- 人口10万人の都市（圏域）では、強度行動障害は20人
- 人口30万人の都市（圏域）では、強度行動障害は60人
- 人口60万人の都市（圏域）では、強度行動障害は120人

## タイプ2 ≡ 8千人

- 人口5万人の都市（圏域）では、強度行動障害は3人
- 人口10万人の都市（圏域）では、強度行動障害は6人
- 人口30万人の都市（圏域）では、強度行動障害は18人
- 人口60万人の都市（圏域）では、強度行動障害は36人

## タイプ3 ≡ 千人

- 人口5万人の都市（圏域）では、強度行動障害は0人
- 人口10万人の都市（圏域）では、強度行動障害は0人～1人
- 人口30万人の都市（圏域）では、強度行動障害は2人～3人
- 人口60万人の都市（圏域）では、強度行動障害は5人

どんなタイプであっても、強度行動障害は市町村・圏域単位でたくさんいるわけではない。1つの事業所、1つの市町村で支援体制の構築やノウハウの蓄積を行うことはまったく現実的ではない。少なくとも人口規模30万人～60万人の広域で体制構築を検討する必要がある。

# 行動障害と虐待

H29年度

被虐待者666人のうち、  
行動障害のある者が  
全体の29.3%

H27年度 28.8%

H28年度 21.3%

平成30年12月「障害者虐待防止法」  
に基づく対応状況等に関する  
調査結果報告書より

## 被虐待者(666人)

- 性別 男性(66.1%)、女性(33.9%)
- 年齢  
30～39歳(18.8%)、20～29歳(18.5%)  
～19歳(17.7%)、40～49歳(16.7%)
- 障害種別(重複障害あり)

身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	難病等
22.2%	71.0%	16.7%	5.1%	2.7%

- 障害支援区分のある者 (62.0%)
- 行動障害がある者 (29.3%)

## 強度行動障害支援者養成研修

「…現状では事業所での受け入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながる可能性も懸念される…」

「…障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができていることが知られている」

「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）事業の実施について（運営要領）」（平成26年1月31日）



## 宇都宮の障害者施設を捜索 傷害容疑、入所者が重傷

2017/9/11 10:19 (2017/9/11 11:21更新)

[保存](#) [共有](#) [印刷](#) [CO ME](#) [Twitter](#) [Facebook](#) [その他](#)

宇都宮市西刑部町の障害者支援施設「ビ・ブライト」で4月、職員が入所者の20代の男性を暴行してけがを負わせた疑いが強まり、栃木県警は11日、同施設と運営元の社会福祉法人「瑞宝会」を傷害容疑で家宅捜索した。男性は腰の骨を折る重傷。

捜査関係者らによると、男性は昨年8月に入所。今年4月中旬、午後から体調不良となり、救急搬送された。腰の骨が折れていたほか、腹腔（ふくくう）内に1リットルを超える血液がたまっており、一時的に意識不明となった。男性は回復したが、現在も療養中。暴力を振るっていた職員がいたとの証言もあったという。

瑞宝会によると、施設は2003年に開所。知的障害者の作業訓練や生活介護を行っており、現在は約30人が入所している。職員は日勤8人、夜勤2人の態勢で対応している。

同会の土屋和夫理事長は10日、取材に「このようなことが起きて誠に申し訳ないが、内部の調査では職員による暴力は確認できていない。真摯に対応する」と話した。〔共同〕





# 重度・最重度知的障害とは | IQの目安

## 知的障害の定義

- 発達期（おおむね18歳未満）に遅れが生じること
- 遅れが明らか（IQ70以下）であること
- 遅れにより日常生活への適応に困難があること

最重度	重度	中度	軽度	境界域	標準
-----	----	----	----	-----	----

最重度知的障害（IQ20以下）  
発達年齢 0～3歳  
言語能力：  
無言語の人も。  
生活はパターンで理解  
限定的な単語理解が可能な場合有。  
発語と意味が無関係な場合も

重度知的障害（IQ35未満）  
発達年齢 3～6歳  
言語能力：2～4語程度の指示  
理解は可能  
会話：1～2往復程度。  
文章理解：文章の読みと理解、  
イメージの関連は困難

# 遊びの発達

『一人遊び』（          歳）

他人に関心がなく、バラバラに遊ぶ。

『並行遊び』（          歳）

その場で友達と一緒にいるが、それぞれがバラバラに遊ぶ。

『連合遊び』（          歳）

お互いが会話をしたり玩具でやり取りをしたりして、  
関わり合いながら遊ぶ。

『協同遊び』（      歳以降）

リーダー格となる友達の下で、お互いに分業したり協調したり  
しながら同じ遊びをするようになる。

# 自閉症とは | 三つ組の障害

## 【三つ組】

### 社会的相互作用の 質的な障害

人に対する独特な  
関わり方

### 想像力の障害

見通しが持ちにくく  
急な変更が苦手

### コミュニケーションの 質的な障害

言葉や表情等の使い方  
や理解の仕方が独特

## 【その他】

- 感覚過敏・鈍麻
- 多動
- 睡眠の問題

# 自閉症とは | 三つ組の障害

## ◎ 対人・社会相互作用の質的な障害

⇒ 一方的で「やりとり」にならない,

「暗黙の了解」「ルール・常識」の理解が苦手

⇒ 年齢相応の友達関係ができない, 「人の気持ち」が分かりにくい

## ◎ コミュニケーションの質的な障害

⇒ 言葉の使い方が独特, うまく「意思疎通」に使えない

⇒ 字義通りの解釈

⇒ どう表現したら伝わるのか分からない

## ◎ 興味・関心の狭さ, 反復行動等, (イメージの違い)

⇒ 特定の対象に対する強い興味・関心

⇒ 習慣や儀式的動作への執着・変更や

新しいことへの切り換えが苦手

⇒ 感覚の過敏さ, 鈍感さ

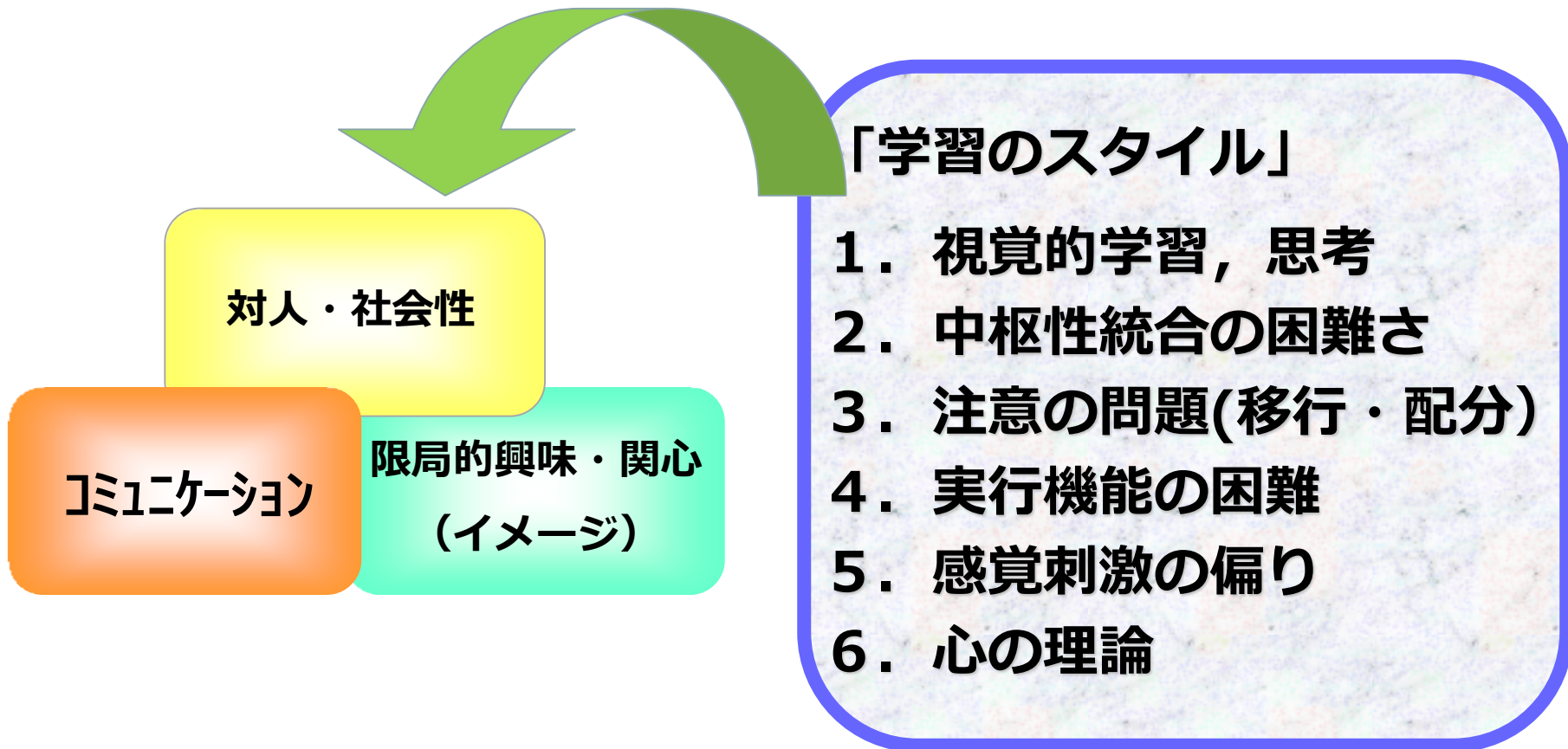
# 自閉症診断の基準となる行動は ワークシート①を参照

シート①「自閉症の診断基準となる」行動の違い		
障がい(困っている状況)が行動の違いとして表れる例		
障害特性	特徴的な行動の例	
コミュニケーションの障がい	ア 理解が難しい	・言語で指示をしてもすぐに行動できない, 指示されたことと違うことをする
		・決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある
		・同じ指示でもわかるときとわからないときがある
		・短い言葉でないとわからない
		・相手の言葉をそのまま繰り返す(反響言語・エコリア)
		・物を見て理解したり, 勘違いしたりする(帽子を見て外出と分かる/間違うなど)
		・とりあえず拒否をする/とりあえず「わかった」という
		・抽象的, 曖昧な(ちょっと, ゆっくり, できるだけなど)表現の理解が難しい
		・他者から与えられる情報や指示に対して回避をする傾向がある
		・冗談や駄洒落, 慣用句などが理解できない/字義通りの理解
	・自分なりの解釈が多く周囲と理解がずれることがある	
	イ 表現が難しい	・行動(かんしゃく, パニック, 身体表現など)で気持ちを伝える
		・コマーシャルやアニメの台詞は言っても伝える手段で言葉を使えない
		・自分にしかわからない言葉や, 言い方がある(帰りたいと「りんご」と言うなど)
		・指さしや相手の手をとって(ハンドリング, クレーン)訴える
・言葉の特定の機能しか使えない(要求のみ・あいさつのみ)		
・伝え方が解らず相手の言葉をそのまま繰り返す(反響言語)		
・この場所ではこの台詞, この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い		
・文法が使えない(単語・二語文)/使えても助詞(がのにを)を間違える		
ウ やりとりが難しい	・やりとりができない/かみあわない	
	・やりとりが続かない	
	・唐突に話し出す, 自分が知ることは相手も知っている前提で話をする	

社会性の障がい	相手の気持ちを想像できない	・視線が合わない/一緒に同じものを見て気持ちを通わせることができない
		・人とかかわりが一方的, 相手の気持ちに関係無く行動する
		・周囲にどのように見られているかわからない, 興味が無い
		・相手の表情を読むことが苦手/特定の表情や雰囲気だけに過剰に反応する
		・相手の気持ちをよく読み間違える
	状況の理解ができない	・視線を送っても意図することに気付かない
		・友達がいなくて, 同世代の人と上手に付き合うことができない
		・年齢相応の常識(社会のルール)が身についていない
		・周囲の様子から期待されていることを理解することができない
		・その場にふさわしい(安全・迷惑等状況に配慮した)行動がとれない
想像力の障がい	物の一部に対する強い興味	・標識ロゴ, 数字, テレビCM, 電車DVDなどの繰り返しの再生, 一部分に執着する
		・細かい事が気になる
		・没頭すると他者との関わりが困難になる
	常同・反復的な行動	・自分の興味のないものに関心を示すことができない
		・同じ場所に置きたい・同じ角度にしたいなどのこだわりがある
		・同じ行動, 活動, 同じ言葉を何度も繰り返す, 長時間続ける
	変化への対応困難	・自分なりの手順, 日課, 道順等の自分ルールが多くある
		・自分のルールを変えられることに抵抗がある/必要があっても変更できない
		・活動の途中で介入されることを嫌い, 抵抗を示す
		・日課が変わる, 担当者が変わる, 場所が変わる等の変更弱い
感覚の障がい	感覚の敏感・鈍感	・眩しがる。目を閉じる。帽子やフードを目深にかぶる。キラキラに没頭する等
		・耳を塞ぐ, 特定の音を嫌がる, 怖がる。特定の音を大音量にしたがる等
		・感触によって触れない, 食べられない, 着られない, 脱ぎたがる, 腕まくり等
		・著しい偏食, 特定の刺激の強い味を好む, 同じ物ばかり食べる等
		・刺激臭を好む, 特定の臭いを極端に嫌う等
		・動きがぎこちない, 不器用, 力が入り過ぎる等
		・ぐるぐる回っても目が回らない, 姿勢が悪い, 高い場所が好き, 絶えず動いている等
		・爪切り, 散髪, 歯磨き, 洗髪など日常的な場面で激しく抵抗する

# 脳の情報処理～「学習スタイル」

「3つ組」として現れる表面上の行動には  
「学習のスタイル」が深く影響している



# 視覚的学習



視覚的な情報は極めて詳細に,表面的に,具体的に捉えているが  
意味・概念といった抽象的（目に見えない）ことの理解は苦手

# 中枢性統合の困難

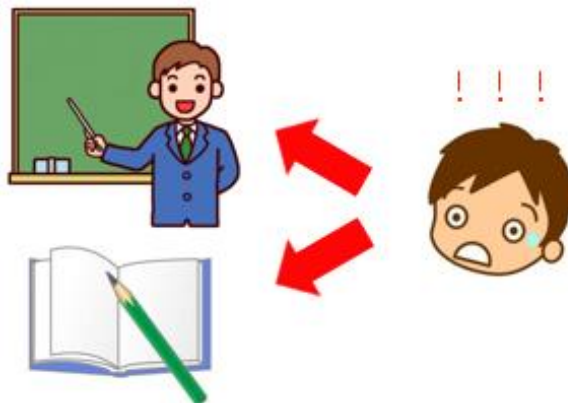


どの情報が要点なのかが  
分からず注目を向ける  
場所が分からない

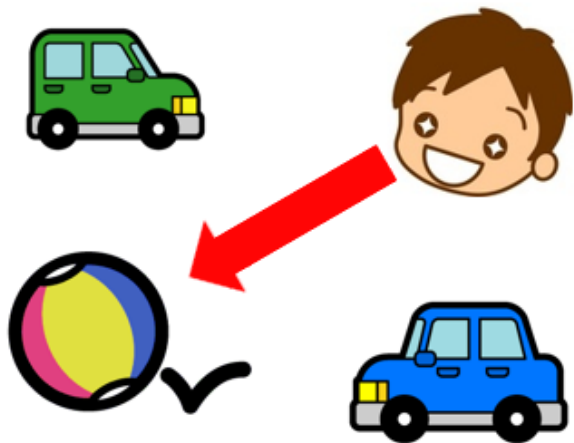
“全体”よりも“部分”に注目  
⇒“場(全体)”の意味が  
読めない



# 注意の問題(移行・配分)



複数のことを同時進行したり  
同時に注意をむけることが苦手

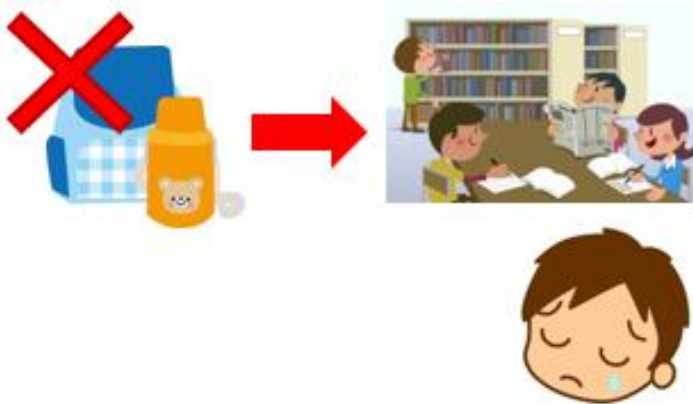


ひとつの事に強く注目するので  
周囲の状況が見えない



刺激に気をとられやすい  
気が散りやすい

# 実行機能の困難



予期しない変更や  
急激な変化，新しいことが苦手



優先順位や順序付けを考えて  
組み立てることがむずかしい

# 感覚刺激の偏り



聴覚過敏



偏食  
(味覚過敏)



触覚過敏

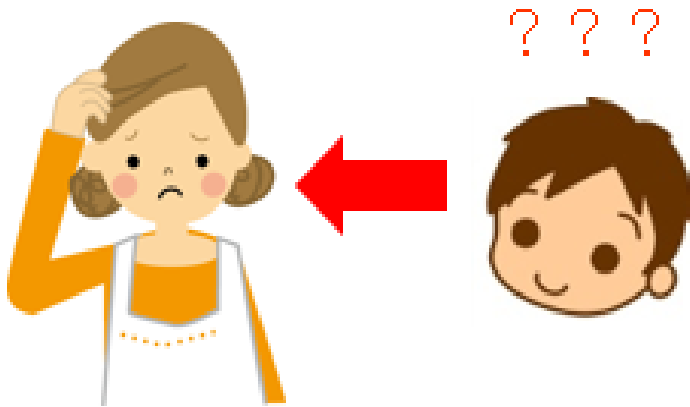


<http://ameblo.jp/asupe-san/>

感覚の過敏（鈍感）さ  
(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)

運動の違い  
(不器用・ぎこちない体の動き)

# 心の理論



相手の表情から意味を  
読み取ることや  
“気持ちを察する事”は苦手



他者と関心を共有することや  
自分と違う他者の思考が  
想像・理解しにくい

# 行動障害のメカニズム

環境（物理的な環境、支援者、その他の人、状況等）

苛立ち・諦め

恐怖心・警戒

支援者

人や場に対する  
嫌悪感・不信感

情報・刺激が  
■ 偏ったり  
■ 分かりにくい  
■ 独特な形で  
入ってくる

伝えたいことを  
■ 言葉ではない  
■ 独特の表現や  
行動を通して  
伝えようとする

「分からない」  
の積み重ね

当事者

「伝わらない」  
の積み重ね

障害特性 × 環境要因 ⇒ 強度行動障害

# 不幸の悪循環



## 当事者からの訴え

- \* 様々な困り感・不快・不安
- \* 適切な表現が分からない
- \* 過去の経験から表現する他の方法を思いつけない
- \* コミュニケーションの結果が予測できず、修正がきかない
- \* したくなくても注目して繰り返してしまう



## 施設職員から見える「行動」

- \* 暴れる, 壊す, 奇声など  
対応に苦慮
- \* 何をしたいのか理解に苦しむ
- \* 周囲の利用者に悪影響を及ぼす
- \* 行動が突発的で油断できない
- \* リスクが高く、「権利擁護」と「安心・安全」の間で  
追い詰められていく

**自閉症と一般人の“感じ方の違い”～「文化の違い」で生じる「ズレ」**



# 改善の為に…

- ＊ 支援記録：「行動」だけでなく前後の状況も記述
- ＊ チームで自閉症の一人ひとりの特性を理解する
- ＊ 共通の言語を持つチーム支援（統一された支援）
- ＊ 支援者間で利用者の置かれている状態・環境を考える



# 記録の重要性

感じ方,表現の違いがあるからこそ、  
ABCモデルに沿った記述を共有して記録できると  
当事者の「訴え」「行動の意味」を記録から汲み取れるよう  
になり、後の支援に活かせる。

重度の人は自分のことの説明が困難なので、  
「行動観察」「行動の記録」から支援者が  
「訴え」や「当事者の気持ち」を汲み取っていくしかない。

発生時間	A【状況・きっかけ】 発生した場所/誰がいたか/していたこと/本人の状態/周囲の状況	B【行動(具体的に)】 具体的な行動を書く 「～する」と動詞の形で書く	C1【どう対処したか】 対応者を具体的に 対応も「～する」と動詞で書く	C2【行動はどうなったか】 対処の結果、Bの行動が 増えた,減った,続いた,止まった、等
日付 (    /    ) 時間 (    :    )	場所  一緒にいた人  周囲の状況  活動の有無(内容も) ⇒		対応者  対応の内容	Bの行動の回数(□増・□減)  状況



# 「行動の意味」を「冰山モデル」で考える



# ワークシート

## 自閉症の特性（一般人との「違い」）を知ろう！

### シート①行動の違い

### シート②認知特性（情報処理）の違い

シート①「自閉症の診断基準となる」行動の違い

障害特性	特徴的な行動の例	チェック
コミュニケーションの障がい	理解が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語で指示してもすぐに行動できない、指示されたことと違うことをする</li> <li>決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある</li> <li>同じ指示でもわかることとわからないときがある</li> <li>短い言葉でないとわからない</li> <li>相手の言葉をそのまま繰り返す（反響言語・エコーリア）</li> <li>物を見て理解したり、勘違いしたりする（帽子を見て外出と分かんないなど）</li> <li>とりあえず拒否をする/とりあえず「わかった」という</li> <li>抽象的、曖昧なくちゅと、ゆっく、できるかなど）表現の理解が難しい</li> <li>他者から与えられる情報や指示に対して回答する傾向がある</li> <li>冗談や駄洒落、慣用句などが理解できない/字義通りの理解</li> </ul>
	表現が難しい	
	社会的障がい	
社会的障がい	エ	
	オ	
	オ	
想像力の障がい	力	
	キ	
	ク	
感覚の障がい	ケ	
	ケ	
	ケ	

## シート①

自閉症の診断基準となる  
= 行動の違い

シート②「障害のもととなる認知特性」情報処理の違い

障害特性	関連する情報処理の特性	本人の具体的な行動	支援のアイデア
コミュニケーションの障がい	理解が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>＊見えないものの理解が難しい</li> <li>＊音声言語の理解が苦手</li> <li>＊見える情報で考える</li> <li>＊一語一句は分からない</li> <li>＊理解するのに時間がかかる</li> <li>＊聴覚過敏がある（音・声など）</li> <li>＊見えないものの扱いが難しい</li> <li>＊音声言語で上手く伝えられない</li> <li>＊誰に伝えたいかわからない</li> <li>＊どこに伝えたいかわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＊本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等）で伝える</li> <li>＊伝える量に配慮する</li> <li>＊理解できるまで待つ</li> <li>＊苦手な刺激への配慮</li> </ul>
	表現が難しい		
	社会的障がい		
社会的障がい	エ		
	オ		
	オ		
想像力の障がい	力		
	キ		
	ク		
感覚の障がい	ケ		
	ケ		
	ケ		

## シート②

障害のもとになる認知特性  
= 情報処理の違い

# 「冰山モデル」シート

問題とされる  
行動

シート① 自閉症の診断基準となる行動の特徴

【本人特性】

シート②

障害のもとになる認知特性  
＝情報処理の違い

【環境・状況】

環境の要因

必要なサポートを書き出す

ご本人に必要な支援のアイディア

# ワークシート①の使い方

- ＊ 日常の行動観察から、シートにあてはまる行動があればチェックを入れていく。
- ＊ ひとりよりも複数の支援者で確認した方が信頼性は高い。
- ＊ 複数支援者で確認してもあいまいなものは、再観察する。
- ＊ あてはまる行動の具体的なエピソードを記入しておくとし支援者間でイメージを共有しやすい
- ＊ シート①②は資料として残しておくとし、ケア会議等を行う際に、関係者間でご本人の状態像の共有を効率的に行える。

シート①「自閉症の診断基準となる」行動の違い

障がい(困っている状況)が行動の違いとして表れる例		チェック
障害特性	特徴的な行動の例	
コミュニケーション	・ 言語で指示をしてもすぐに行動できない、指示されたことと違うことをする	
	・ 決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある	
	・ 同じ指示でもわかるときとわからないときがある	
	・ 短い言葉でないとわからない	
	・ 相手の言葉をそのまま繰り返す(反響言語・エコラリア)	
	・ 物を見て理解したり、勘違いしたりする(帽子を見て外出と分かる/間違ふなど)	
	・ とりあえず拒否をする/とりあえず「わかった」という	
	・ 抽象的、曖昧な(ちょっと、ゆっくり、できるだけなど)表現の理解が難しい	

# ワークシート②の使い方

- \* シート①でチェックを入れた項目の具体的エピソードを  
同じ障害特性項目[ア,イ,ウ等]の「本人の具体的行動」記入欄に  
記入（例；送迎ルートを運転手が間違えると自傷がある）
- \* 具体的エピソードには、「どんな場面,どんな環境で」など  
その行動が起きやすい場面の情報が書かれていると更に良い
- \* 対応する「支援のアイディア」からご本人に合いそうなものを  
支援の手立てとして考える。
- \* 支援の手立ては「ご本人の特性や無理なくできること」を  
環境に反映させていく視点で(ご本人に環境を合わせる視点)

シート②「障害のもととなる認知特性」情報処理の違い

障害特性		関連する情報処理の特性	本人の具体的行動	支援のアイディア
コミュニケーション	理解が 難しい	* 見えないものの理解が難しい		* 本人が理解できる見える情報 (文章,単語,絵,写真,シンボル,具体物等) で伝える * 伝える量に配慮する * 理解できるまで待つ * 苦手な刺激への配慮
		* 音声言語の理解が苦手		
		* 見える情報で考える		
		* 一度に沢山は分からない		
		* 理解するのに時間がかかる		
		* 聴覚に過敏がある(音・声など)		

# 記入例

## シート①

想像力	物の一部に対する強い興味	・ 標識ロゴ, 数字, テレビCM, 電車, DVDなどの繰り返しの再生, 一部分に執着する	✓
		・ 細かい事が気になる	
		・ 没頭すると他者との関わりが困難になる	✓
		・ 自分の興味のないものに関心を示すことができない	✓

## 具体的な「行動」のエピソードを記入

## シート②

想像力	物の一部に対する強い興味	* 興味関心が狭くて強い	* 妖怪ウォッチのキャラクターが大好き * 好きなアニメのDVDを繰り返し見る 集中し過ぎて次の日課の声掛けをしたり、先を促すと不穏になる。 * 他の人の好きな物には関心が無い	* 本人の興味関心に合わせた提示 * 最初から正しい方法で学ぶ配慮 * 活動に意味を持たせる(ごほうびの活用) * 終了ときっかけの支援
		* ひとつ思いつくとそれ以外思いつけない		
		* 集中しすぎると注意の移動ができない		
		* 部分的に強く処理し全体の理解が苦手		

# 記入例：冰山モデルシートへ

## シート②

想像力	物の一部に対する強い興味	<ul style="list-style-type: none"> <li>*興味関心が狭くて強い</li> <li>*ひとつ思いつくとそれ以外思いつけない</li> <li>*集中しすぎると注意の移動ができない</li> <li>*部分的に強く処理し全体の理解が苦手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*妖怪ウォッチのキャラクターが大好き</li> <li>*好きなアニメのDVDを繰り返し見る集中し過ぎて次の日課の声掛けをしたり、先を促すと不穏になる。</li> <li>*他の人の好きな物には関心が無い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*本人の興味関心に合わせた提示</li> <li>*最初から正しい方法で学ぶ配慮</li> <li>*活動に意味を持たせる(ごほうびの活用)</li> <li>*終了ときかけの支援</li> </ul>

「問題行動」を具体的に記入

問題とされる行動

シート① 自閉症の診断基準となる行動の特徴

【本人特性】

【環境・状況】

「関連する情報処理の特性」を「本人特性」として記入

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮

# シートで事例を考える

演習



①スタッフ・他利用者への他傷, パニック (送迎車搭乗時)

②特定の他利用者への他傷行為 (施設内)

【本人特性】

①送迎車内の混乱

- ㄱ)手がかりが変わると分からなくなる(送迎時間の変更)
- ㄴ)感覚に敏感がある(聴覚)

②繰り返される他傷行動

- ㄱ)ひとつ思いつくとそれ以外できない
- ㄴ)見た記憶が強くて引っ張られる
- ㄷ)一度思いつくとそれ以外思いつけない

【環境・状況】

①送迎車：

- \* 他利用者の乗車時間遅延
- \* 同乗他利用者の奇声

②施設内：他傷行動

- \* 他利用者の突発的な不穏化・奇声
- \* 不明確な環境
  - ・ いつ始まり、いつ終わるのが分かりにくい
  - ・ 活動が無いので他傷行動に注目

必要なサポートを書き出す

①送迎車：家族送迎(自家用車)にする

②特定の他利用者への他傷行為：

- 1) 静かな個室を用意
- 2) 再構造化して分かり易い環境に
- 3) 負荷の低い活動を提供
- 4) マンツ-対応で「成功経験」から始める

# 強度行動障害支援の現場



＊ 日常的に続く、物損，パニック，他傷，自傷，こだわり行動，行動停止等の問題。つまづきの要因が分からない，改善しない状況⇒当事者状態の悪化，支援職の疲弊感。

＊ 成人施設の女性職員の在勤率の高さ  
⇒新卒，非常勤女性職員が成人男性のパニックや他傷行為に会い、リスクが予測されるケースは少ない男性職員の対応交代など、一時的な処置で日々をしのいでいる。

# 身体拘束…本当に止むを得ない場合

## ●切迫性

ご本人の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高い

## ●非代替性

身体を拘束する以外安全を確保する手段がない

## ●一時性

身体を拘束する事が一時的な場合

■左の「3要件」が満たされた時のみ実施

■客観的な記録・事例検討の経緯から、「根拠」を経て3要件に該当する可能性がある場合、事前にご本人・家族の同意を得て「行動の支援計画」として「危機回避の方法」を書式に明記しておくこと。

⇒「万一の準備」はご本人・職員共に不安や危険を軽減する。

# 行動支援計画書

## 行動支援計画書

### 行動制限実施同意書

平成 年 月 日

- 1、 \_\_\_\_\_さん、あなたは裏面記載の理由により、行動制限（居室施設を含む）を行う場合があります。
- 2、 裏面の状況が改善されましたら、上記行動制限を解除、または対応時間を短縮いたします。

以上のことに同意します。

事業所名  
事業所住所  
代表者氏名  
行動支援責任者氏名

印  
印

事業所名  
事業所住所  
主治医

印

利用者住所  
利用者氏名

印

☐ 成年後見人    ☐ 親権者    ☐ 身元引受人

住所：  
氏名：

印

**～事例 2～**  
**虐待防止・権利擁護研修と**  
**強度行動障害支援者養成研修の**  
**連携の「あり方」**

# 施設相互コンサルテーションについて

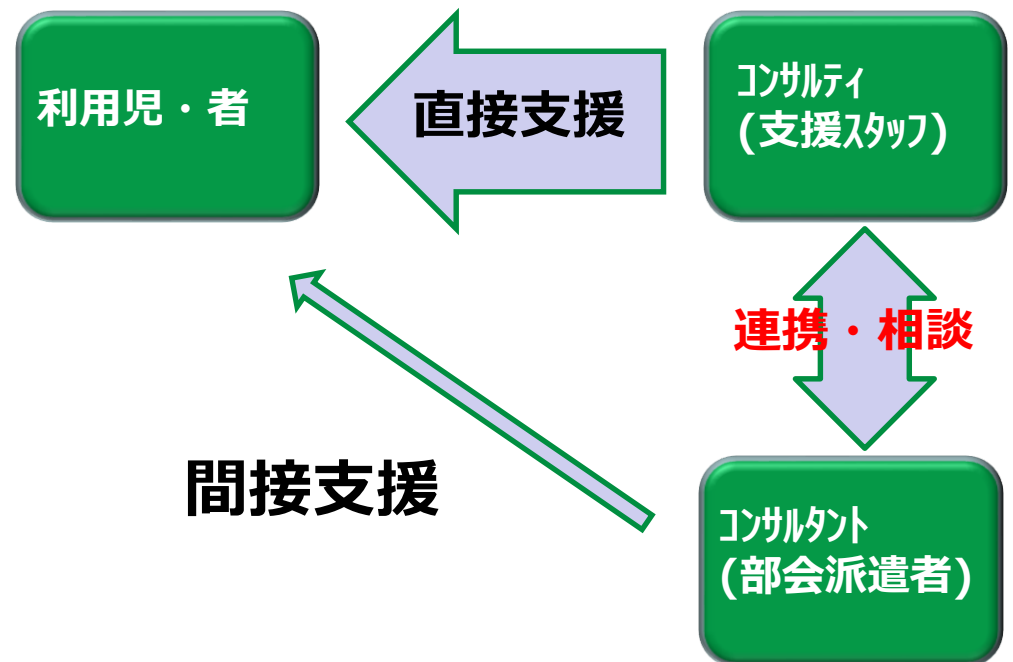
リスクの高い利用児・者の支援について、  
事例検討による法人施設間の相互コンサルテーションを行う

コンサルテーション：

外部の支援者が、他の支援スタッフの担当利用者の支援について相談し、よりよい支援について話し合うこと。

「コンサルタント」：  
支援スタッフと相談する人

「コンサルティ」：  
相談を受ける支援スタッフ



# 相互コンサルテーション部会

## 経営企画会議

協議

## 相互コンサルテーション部会（臨時招集）

報告

《評議員》 支援局長/リスクマネジメント委員長/権利擁護委員長/発達3S委員長/  
発達支援センター

《会 議》 対象施設：管理職(サバ管)・アバンス研修修了者

※要協働鑑定会議は評議員2名＋管理職(サバ管)・アバンス研修修了者で実施

協働

報告

- ①委員会会議報告で高リスク状態（自傷・他傷・器物破壊等）が有
- ②特定利用者の高リスク状態の報告が[3ヶ月]続いた場合

\*部会で「要協働案件」として採決後  
「戦略シート」「事例検フォーマット(3S)」  
いずれかで連続3ヶ月の事例検討  
とモニタリング（振り返り）  
ファシリテーター：[部会]評議員

リスクマネジメント  
委員会

各事業所

事例検討会

\*毎月の委員会  
でのリスク報告

# 「部会」の機能

リスク委員会の施設報告



リスクの高い利用者・児がいる



「コンサルテーション部会」にて協議

《両局長・各委員長[リスク/権利擁護/3S/研修]・発達支援センター》



「要協働案件」の判断



対象事業所で3ヶ月連続「事例検討会」実施

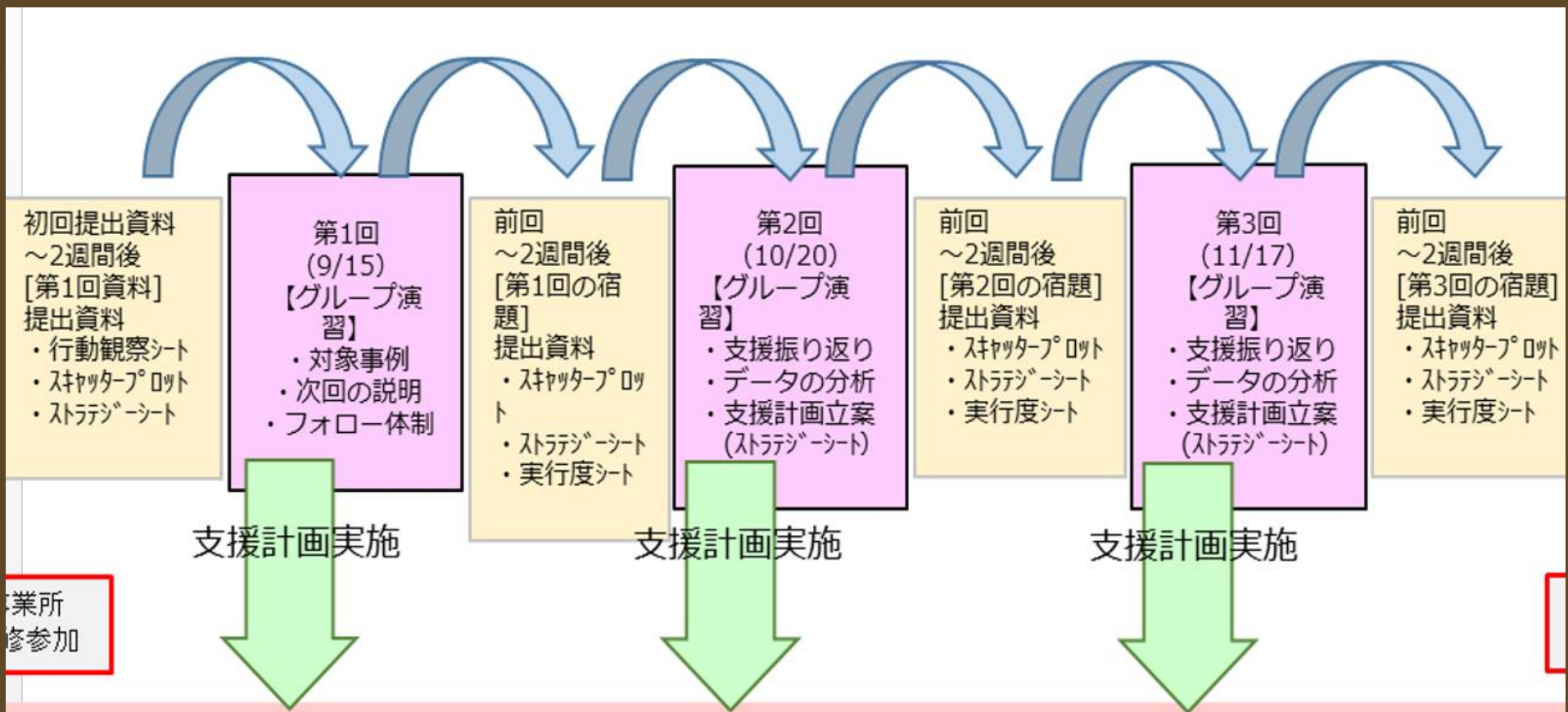
⇒翌月振り返り＋再支援計画



# 事例検討とモニタリングの反復イメージ

## 東京都社会福祉協議会

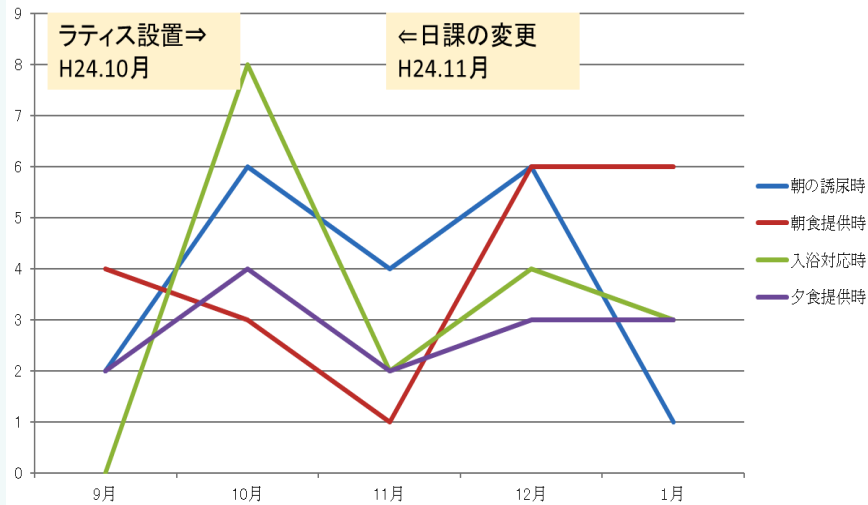
### 強度行動障害支援アドバンス研修



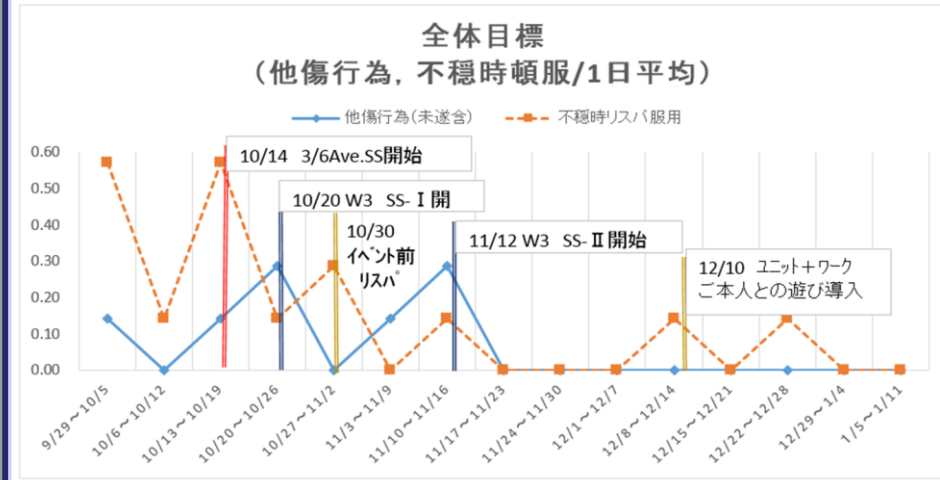
事業所内における支援記録記入方法の統一・支援計画の職員間での実施統一

# 入所施設の協働事例(H24~H30)

## 平成24年：利用者の他傷行為悪化



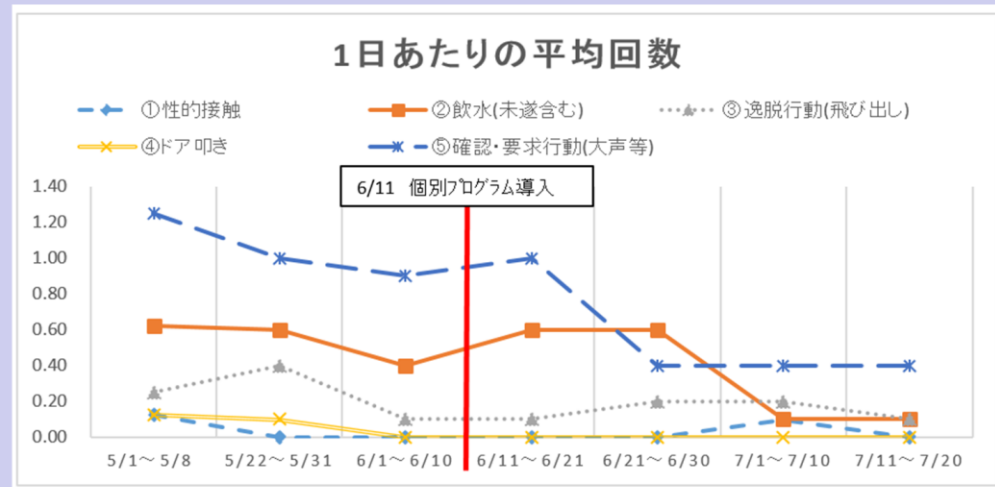
## 平成27年：利用者の他傷により新任スタッフ救急搬送。



＊他傷行為・不穏時の頓服利用共に取組開始時に較べると減少

■プログラム開始後、1ヶ月毎に事例研と支援計画の振り返りを実施

## 平成27年10月水中毒による緊急入院 平成30年他利用者への性的接触



# 行動観察シート

日にち	時間	状況・きっかけ (いつ? 誰という時? 何してる とき? どこにいる時?)	行動 (具体的に)	どう対処したか (スタッフ・周囲の対応)	行動はどうなったか
例 ○/○○	11:00	ホール自エリアから出て来て、 トイレへ向かう移動途中。	側にいたスタッフを抓る	避けて対応し、そのま まトイレへ行く。	トイレ内ですぐに立位に て排泄有。失禁の為着 替える。
12月28日	10:05	エリアでお茶を提供した時	スタッフの手を軽く掴む	無反応	お茶を飲み普通にしてい た
12月28日	10:20	トイレ内で排尿の後	スタッフの手を2回掴む	無反応	グッズを持ってもらいエ リアへ戻る
12月28日	10:45	トイレ内で排尿の後	尿が床に飛び散ったた めスタッフ介入した際に スタッフの手を3回掴む	無反応	スタッフの行動が済む とパンツ・ズボンをはく
12月28日	11:20	トイレから出て廊下で	スタッフの腕掴み2回	無反応	そのままホールへ戻る
12月28日	11:38	トイレ内	スタッフの腕掴む	無反応	トイレへ入り排尿する
12月28日	12:07	トイレへ入ったタイミング	スタッフの腕掴み未 遂 2回	避ける	トイレへ入り排尿する
12月28日	12:15	トイレへ出るタイミングで安心グ ズを片手で持ったため声をか けると	スタッフの腕掴む	避ける	両手に持ってBAへ戻る
12月28日	12:40	食事中、メインのおかずを食 べ終え次の皿を手前に移動さ せる前のタイミングで	スタッフの腕を掴んで から移動する	避ける	蓮根食べ始める

# 事例検討用ツール (ストラテジーシート)

## A : 事前

いつ、どこで、誰と、何をしているとき？  
生じないときがあれば赤字で記入

## B : 行動

具体的に記入

## C : 事後

☐要求 ☐注目 ☐阻止回避 ☐自動強化  
☐その他

## 事前の工夫

☐起こらなくてすむために  
☐望ましい行動が起こるために

## 望ましい行動

☐指示に従うスキル  
☐コミュニケーションスキル  
☐余暇スキル ☐その他

## 強化の手立て

☐ほめことば ☐ごほうび ☐好きな活動  
☐トークンシステム ☐その他

## 起こってしまったときの対応

☐成功に導く手立て ☐クールダウンの手立て

それでも困った行動が生じた場合

# まとめ

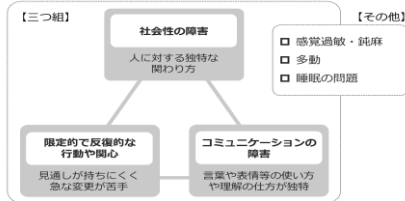
- ＊「虐待防止委員会」による「不適切な支援の防止」は必要！
- ＊しかし、その後も「不安定状態の利用者」「疲弊する支援スタッフ」双方が「日常生活」を共にする。  
強度行動障害支援の場合、「虐待防止委員会」による検証だけでは、「当事者状態の改善」にはつながりにくい。
- ＊「強度行動障害支援者養成研修」  
「強度行動障害支援アドバンス研修」修了者は  
⇒施設管理職と連携して現場実践が必要。  
実践促進の為、内外部SV,コンサルテーション,  
経験職によるOJTを活用
- ＊事業所内虐待防止委員会は「虐待防止」で満足せず  
当事者,支援者双方の「現実を変える」為に  
「事例検討会」まで「案件をつなぐ」ことが必要！

# 従来のスキーム

## 連動・連携の意識弱い

### 強度行動障害支援者養成研修

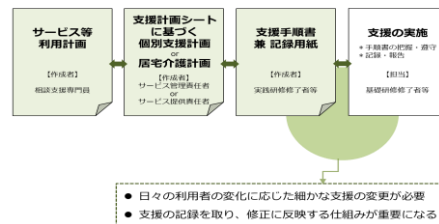
#### 自閉症とは | 三つ組の障害



#### 共通する支援の枠組み

- ☑ 構造化された環境の中で
- ☑ 医療と連携しながら
- ☑ リラックスできる強い刺激を避けた環境で
- ☑ 一貫した対応をできるチームを作り
- ☑ 自尊心を持ちひとりでできる活動を増やし
- ☑ 地域で継続的に生活できる体制づくりを進める

#### 支援の基本的な流れ | 枠組み



### 障害者虐待防止・権利擁護研修

※「虐待防止委員会」は、「虐待防止等のための措置」のひとつの例です。

#### 虐待防止委員会

委員長: 管理者  
委員: 虐待防止マネジャー (サービス管理責任者等)  
看護師・事務長  
利用者や家族の代表者  
苦情解決第三者委員など

虐待防止委員会の役割

- ・研修計画の策定
- ・職員のストレスマネジメント・苦情解決
- ・チェックリストの集計、分析と防止の取組検討
- ・事故対応の総括
- ・他の施設との連携 等

(連携弱)

虐待防止マネジャー

各部署の責任者  
サービス管理責任者など

虐待防止マネジャーの役割

- ・各職員のチェックリストの実施
- ・倫理綱領等の浸透、研修の実施
- ・ひやり・ハット事例の報告、分析等



虐待防止マネジャー

各部署の責任者  
サービス管理責任者など

虐待防止マネジャーの役割

- ・各職員のチェックリストの実施
- ・倫理綱領等の浸透、研修の実施
- ・ひやり・ハット事例の報告、分析等



虐待防止マネジャー

各部署の責任者  
サービス管理責任者など

虐待防止マネジャーの役割

- ・各職員のチェックリストの実施
- ・倫理綱領等の浸透、研修の実施
- ・ひやり・ハット事例の報告、分析等





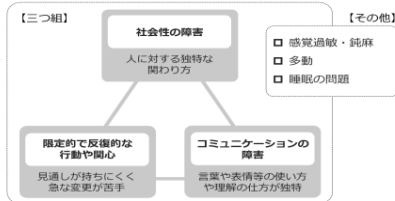
# 本来の“虐待防止スキーム”

## 「虐待防止の両輪」 研修間の連動・連携

### 強度行動障害支援者養成研修

### 障害者虐待防止・権利擁護研修

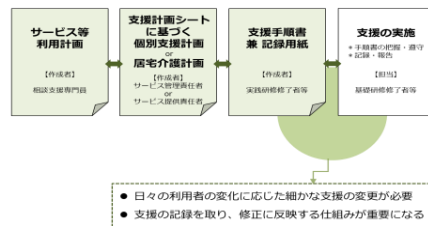
#### 自閉症とは | 三つ組の障害



#### 共通する支援の枠組み

- ☑ 構造化された環境の中で
- ☑ 医療と連携しながら
- ☑ リラックスできる強い刺激を避けた環境で
- ☑ 一貫した対応をできるチームを作り
- ☑ 自尊心を持ちひとりである活動を増やし
- ☑ 地域で継続的に生活できる体制づくりを進める

#### 支援の基本的な流れ | 枠組み



### 事例検討・発表 コンサルテーション 従業者間ネットワーク

### 連動・連携

※「虐待防止委員会」は、「虐待防止等のための措置」のひとつの例です。

#### 虐待防止委員会

委員長：管理者  
委員：虐待防止マネジャー（サービス管理責任者等）  
看護師・事務長  
利用者や家族の代表者  
苦情解決第三者委員など

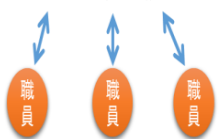
#### 虐待防止委員会の役割

- ・研修計画の策定
- ・職員のストレスマネジメント・苦情解決
- ・チェックリストの集計、分析と防止の取組検討
- ・事故対応の総括
- ・他の施設との連携 等

#### 虐待防止マネジャー

各部署の責任者  
サービス管理責任者など

虐待防止マネジャーの役割  
・各職員のチェックリストの実施  
・倫理綱領等の浸透、研修の実施  
・ひやり・ハット事例の報告、分析等



#### 虐待防止マネジャー

各部署の責任者  
サービス管理責任者など

虐待防止マネジャーの役割  
・各職員のチェックリストの実施  
・倫理綱領等の浸透、研修の実施  
・ひやり・ハット事例の報告、分析等



# 「現実を変えること」

～Change the world～

本人の「自閉症(脳の情報処理の違い)」は変わらない  
安心・強みを引き出せるように「環境(支援)」を変える  
⇒「行動(状態像)」が変わる

⇒当事者が過ごしやすい環境で  
自発的に過ごせていける支援が  
「権利擁護」「虐待防止」  
につながります  
チーム支援, 科学性が必要